

月次景況調査結果

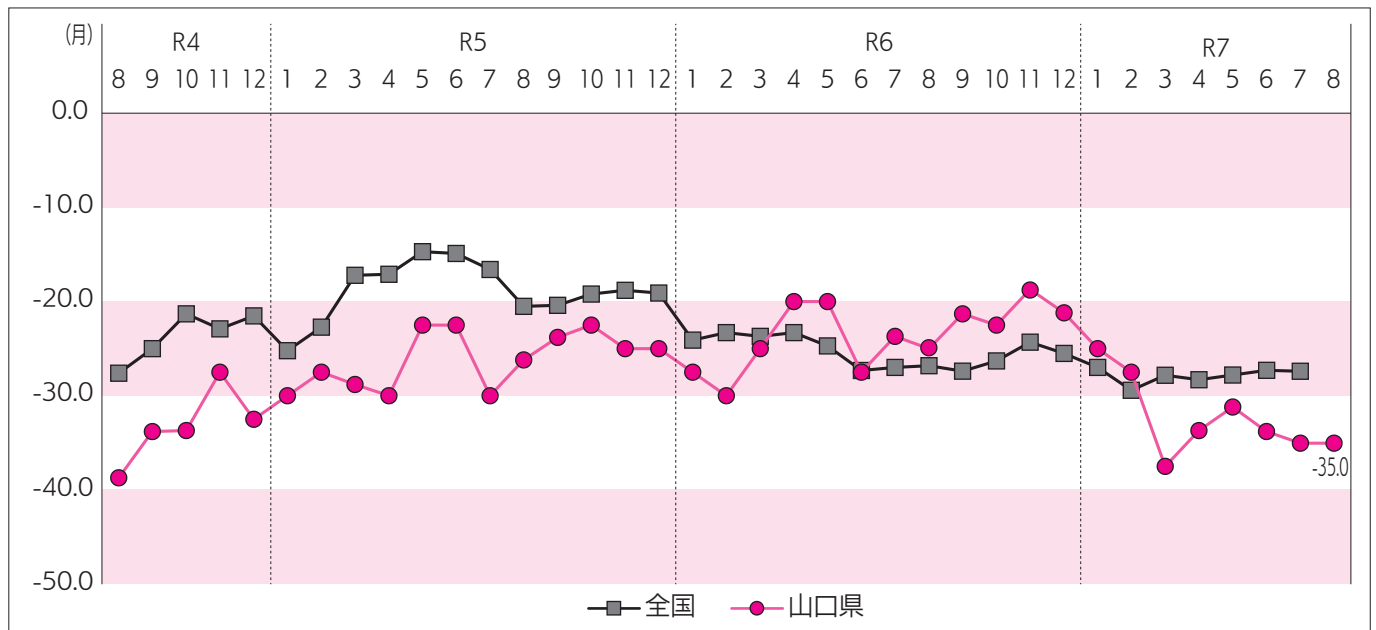
令和7年8月期

8月は、猛暑の影響により消費者と直結する製造・販売・サービス関係の業種において売り上げが減少し、一般機器や印刷などでは受注が落ち込んでいる。また、原材料費の高騰や人件費の増加等に価格転嫁が追いつかず、収益が悪化している業種も多い。このため、景況DI値は低い水準のまま改善が見られない。

深刻な人手不足や、収益確保に苦慮する中で、10月から最低賃金が大幅に引き上げられることに対し、経営に与える影響の大きさを懸念する報告が多く寄せられている。

業界の景況DI値の推移 — 全国平均との比較 —

※DI値(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標です。
DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 悪化組合割合



項目別のDI値

項目	前年同月比			前月比
	R 7.7月	R 7.8月		
売 上 高	▲25.0	▲20.0		↗
在 庫 数 量	▲20.0	▲4.0		↗
販 売 価 格	18.7	18.8		↗
取 引 条 件	▲15.0	▲15.0		→
収 益 状 況	▲35.0	▲28.8		↗
資 金 繰 り	▲13.7	▲12.5		↗
設備操業度	▲21.9	▲25.0		↘
雇 用 人 員	▲13.7	▲11.2		↗
業界の景況	▲35.0	▲35.0		→

DI値

30以上..... ☀ -30以上-10未満 ☁
10以上30未満..... ☁ -50以上-30未満 ☁
-10以上10未満..... ☁ -50未満..... ☁

業種別 業界の景況DI値

	業 種	前年同月比		前月比
製 造 業	食 料 品	▲62.5	☁	↘
	織 維 工 業	0.0	☁	↗
	木 材・木 製 品	▲50.0	☁	→
	印 刷	▲50.0	☁	→
	窯 業・土 石 製 品	▲50.0	☁	→
	一 般 機 器	▲37.5	☁	↘
	輸 送 機 器	▲33.3	☁	→
非 製 造 業	卸 売 業	▲40.0	☁	→
	小 売 業	▲28.6	☁	↗
	商 店 街	▲50.0	☁	↘
	サ ー ビ ス 業	▲9.1	☁	↗
	建 設 業	▲27.3	☁	→
	運 輸 業	▲28.6	☁	→
	そ の 他	▲100.0	☁	→

月次景況調査結果特記事項【令和7年8月期】
山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	調味料製造業	県内全域	猛暑や米不足の影響で売上が伸びない。
	パン・菓子製造業	宇部・山陽小野田	お盆時の豪雨により、軒並み売上が減少した。特に観光地である秋芳洞の菓子売店への影響が大きかった模様。また、最低賃金の上昇が経営環境に与える影響は大きく、組合員にとって最大の関心事となっている。
		下関	熱中症対策で、冷房による光熱費の負担が増加した。
	水産食料品製造業	下関	円安が少しずつ回復傾向にあるが、原材料や水道光熱費の高騰、人件費（時給の最低賃金）の上がり幅が大きいため、商品の値上げが追いつかず、単価設定を見直す必要がある。8月は夏休みやお盆休み等の長期休暇もあり、収益が見込まれていたが、お盆休み前半の大雨の影響で売上が予想よりも減少した。厳しい残暑と不安定な天候に売上が影響を受けている。
	精穀・製粉業	防府・山口	8月の売上については、全国的に慢性的な米不足が続き、農協の概算金が大幅に上昇したことによる売上高の増加が見込める状況となった。ただ、いままでの肥料、農薬、燃料代などの上昇分を吸収できるくらいとなるため、利益率については変更が無い。8月も高温が続き、雨がほとんど降らなかったことから、全国的にも干ばつ傾向となり、米市場での不足感が解消されることがない事態となっている。備蓄米を機動的に放出したことでお米の値段は停滞傾向だが、このまま異常気象が続けば、再度米不足が発生する事態となり、備蓄量が日本の年間消費量の2ヶ月分程度しかない現状を解消するためには、食料安全保障という観点から、4ヶ月分くらいの在庫がほしい。ロシアがウクライナに侵攻して3年を経過したが、アメリカのトランプ大統領が、停戦に向けてプーチン大統領との会談を行うなど、戦局について変更の兆しが現れている。イスラエルがイランを攻撃し、アメリカも参戦するなど、中東情勢の悪化に伴う世界情勢が混沌として、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。国際的な原油価格が上昇し、それに伴って肥料価格が前年比160%アップという驚異的な結果となっている。特に、ガソリン価格の対策費の継続と食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。おって、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要となる。日本の発電における化石燃料の割合は、約70%と世界的にみても異常に高いので、早急に自然エネルギーの利用と原子力などによる発電に関するゼロカーボンの比率を70%にさせるなどの改善が必要である。トランプ大統領が、相互関税について、日本に対しては15%という水準を決定したが、大統領令の発出が遅れるなど保護主義に対する懸念が強まっている。
	食料品製造業	下関	8月は売上が落ち込む時期であるが、新規で大口のまき餅の注文や、法事の折詰の注文で売上が伸びた。また、恒例の地区の夏祭りも大勢の人で賑わい、昨年の倍近い売上高となった。しかし、記録的な暑さで野菜類が思うように手に入らず、エビやホタテといった海産物も入手困難な状態が続いており、仕入れ関係に問題が生じている。収穫時期を迎えた新米の価格によっては、再度の値上げも検討せざるを得ないかもしれない。
繊維工業	外衣・シャツ製造業	防府・山口	最低賃金改訂分の転嫁ができるか、生産性がアップできるか、見通しがつかない。
	帆布製品製造業	宇部・山陽小野田	イベントテントの需要が増加している。また暑さ対策のためのブースや間仕切り等の注文が増加している。
木材・木製品	製材業・木製品製造業	下関	組合員7社の平均値は、売上額前年同月比30%減であった。
印刷	印刷業	下関	印刷業界においては、最も閑散期となる夏場を迎え、高騰が続く原材料、エネルギー価格に対する価格転嫁が思うように進んでいないのが現状である。全印工連を通じて働きかけた結果、今年6月に各自治体に対し、経産省、総務省から官公需印刷物の入札、契約価格に対する文書が発出されており、今後、適性価格の設定ができる環境になることを期待している。
		防府・山口	8月は長い休暇もあり受注も売上も落ち込んだ。諸物価高騰により材料費や副材料費も上がり、それを販売価格に転嫁できず減収減益となっている。

月次景況調査結果特記事項【令和7年8月期】
山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
窯業・土石製品	コンクリート製品製造業	県内全域	セメント・重油等原材料の上昇、賃金アップ、人材確保の理由により4月から15%程度の値上活動を実施している。
		防府・山口	前年同期比▲64%と組合全体の出荷量が激減している。今後も大きな工事予定も無く、前年比50%の実績で移行すると思う。
	生コンクリート製造業	県内全域	出荷量は、前月比124%、前年同月比88%であった。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。
	石工品製造業	防府・山口	お盆前には、墓石の清掃依頼が多くなる。現状では、葬祭業や他業種等も多く参入しており、異業種との格差を図るため費用は取って抑えず、作業内容で満足して頂いている。
	陶磁器・同関連製品製造業	萩・長門	夏休みの期間となり売上は好転。今年のお盆は曜日の並びが良く、9日～17日まで充実した週となった。依然として、土問題や原材料の価格高騰問題等が続き悩みは尽きないが、今できることの最善を尽くしている状況。9月は西日本陶磁器フェアを皮切りに、3月までイベントも目白押しで、貯めた在庫を放出し、売上も下がることのないように対策をしていきたい。
一般機器	一般産業用機械・装置製造業	周南	組合員企業の多くは周南コンビナート関連だが、8月は大きな定修工事もなく閑散期となる。今年度も前期同様、特に大きな仕事がなく、9月から始まるコンビナート定修工事に備え、それまでは県外への営業等で繋いでいる状況である。
		防府・山口	一般機器業界は冷え込んでいる。受注数減、受注単価低下、利益率低下で非常に厳しい状況である。得意先の仕事量が少なく見積から発注まで時間がかかっている。消耗品の受注も減少している。仕事量は下半期にかなりずれてくると思われる。納期に余裕があるが人手不足は変わらない。
		宇部・山陽小野田	先の見えないロシアのウクライナ侵攻、日本としては一定の交渉は妥結したものの、アメリカのトランプ政権が進める関税政策は世界経済を混乱させ、日本経済への影響が今後どの程度あるか今なお不透明な点があり慎重に見極める必要がある。既に自動車関連の一部製造業で設備投資等が低調になってきており、当面インバウンド需要が旺盛なサービス業を除き、人材のだぶつきが発生することも覚悟しておく必要があると考えている。一方、介護、外食、サービス業は人材の確保に苦慮しており、外国人人材への切り替え需要が多い。しかしながら、現実とかけ離れた部分で外国人雇用が政争の具となり混乱をきたしている。今後適切な方向での共生社会づくりが喫急の課題である。早急な対応が無いと、他国に比しての低賃金のみならず、反外国人キャンペーンは、優秀な外国人人材確保の大きな足かせとなる。なお、最低賃金見直しは一定の成果があったが、山口県の場合、近隣他県に比しての賃金格差は広がる傾向にあり、この解消にも早急に対処する必要がある。今後、安定的人材確保を目指して、従来から交流のあるベトナムのビンズン省に加え、インドネシア中部ジャワ州送り出し機関との連携を進め、賃金対応のみならず多文化共生社会づくりへの対応による生活環境、文化環境、教育環境、日本語教育等の充実による魅力づくりに取り組む必要がある。
		宇部・山陽小野田	依然として、「受注量が上昇しない」「仕事量が減少した」といった厳しい状況が見受けられる。10月からの最低賃金の上昇に伴い人件費が高騰することから、収益の確保に苦慮する状況が続くと思われる。
		周南	米国関税の影響については未知数である。
		下関	特に問題はない。最近病院での外国人就労者をよく見かけるようになった。
輸送機器	鉄道車両・同部品製造業	周南	鉄道車両関係の全体の受注量は減少傾向にあり、大幅な受注減の見通し。2025年度11月下旬から受注増加の予定ではあるが、本格的稼働は2026年度以降になる見通し。10月からの最低賃金の急激な上昇による人件費や原材料費・電気料等の高騰および借入金の金利上昇もあり、収益面で厳しい状況が続く見通し。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測より受注量が減少。今後もしばらくは低位に推移するものと思われる。

月次景況調査結果特記事項【令和7年8月期】
山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
卸売業	乾物卸売業	防府・山口	昨年同様に、安定した倉庫保管率を維持しており経営状況は順調である。4月以降の総売上においても、昨年同時期と比較して同等であり、年間売上目標達成が可能な状況で推移している。
	生鮮・魚介卸売業	下関	沖合底引き漁が始まり、鮮魚の水揚げが増加した。また、単価の高いアカムツなどの漁獲も多く引き合いが多い。時化る日は少ないものの、暑さの影響もあり、苦戦している組合員も多い。
	各種商品卸売業	防府・山口	全体的にあまり良い状態とは言えない模様。物価高騰に加えて、卸値・仕入れ値ともに上昇傾向にあり経営に支障をきたしている。人材の確保も厳しいが、賃金の値上げをしなくても、今は厳しい状況にある。
	各種商品卸売業	防府・山口	猛暑により氷の売上が増加している。
小売業	化粧品小売業	下関	県内の化粧品専門店の売上状況は前年と同等か微減少の模様。8月に九州北部から山口県にかけて発生した線状降水帯では、山口県の化粧品組合に所属している店舗に被害がなく安心したが、これ程の自然災害になるとインショップでも路面店でも売上は伸びず、交通網の寸断等による影響も出て売上に響く。以前のような日本の四季がなくなっているように感じるが、これからは新しい日本の気候にあった化粧品や既存商品の対応を専門店で紹介していかなくてはならない。
	各種商品小売業	萩・長門	8月の売上は対前年比1.6%の減少。人手不足により昨年7月から月1日の全館休館日を設けており、営業日数は昨年と同じ。冷製デザートのお店や水産加工品の店舗が不調であった。売上客数は1.1%増加しているが、客単価の下落により売上が減少した。
		下関	8月の売上高は前年比99.9%、来店者数は前年比100.8%。商品の値上がりが続いているが、その割に供給が伸びていない。来店者数が久しぶりに前年を超えた。店舗スタッフがコロナに感染した。
商店街	岩国市	岩国・柳井	猛暑の影響が計り知れない。消費者と直結する小売り・サービス業は、異様な気候に消費モチベーションが急激に低下、低迷する。一方で物価上昇は止まらず、政府の目に見える施策が発表されるでもなく、賃金の値上げこそが景気対策と言い放ってやまない。その間に米は高騰し、燃料は上がり、仕事は無くなる。未来への期待感が持てる材料は無い。
	周南市	周南	今年も毎年恒例のナイトフェスタin青空が青空公園で開催され、地元のコミュニティが中心となって、夏の終わりに盛大に繰り広げられる。また、駅前図書館の主催で「周南夜市」が29日に開催され、中央街がメインとなり、レトロな雰囲気でも繰り広げられる。
	山口市	防府・山口	猛暑の影響で野菜の入荷が大幅に減少し高値が続いているため、冷凍野菜に変更するお客が多く、売上が前年比マイナスになっている。給食が始まると品薄感がますます強くなり、影響が大きくなると思われる。
	宇部市	宇部・山陽小野田	商店街は壊滅状態である。猛暑や物価高の影響で人の動きがなく、このような状態が続けば閉店するしかない。
	萩市	萩・長門	食品関係の売上は堅調に推移している。8月前半は夏のイベント等で来街者が増えたものの、売上には結びつかなかった業種も多かった模様。
	下関市	下関	猛暑が続いているため、商店街の来街者が激減している。比較的買い物客が増える午前中でも人通りがまばらである。

月次景況調査結果特記事項【令和7年8月期】
山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
サービス業	理容業	防府・山口	高齢化により組合員が減少傾向である。物価高騰や厳しい暑さのため客足が遠のいている。
	自動車整備業	県内全域	山口県の令和7年7月の新車新規登録台数は、登録車2,998台で対前年同月比90.1%のマイナス、軽自動車も2,207台で対前年同月比93.1%のマイナスとなり、全体で91.3%のマイナスと2ヶ月連続して前年を下回り減少率も大きくなった。新車の供給体制も整いこれからという状況のなか、物価高騰等様々な要因も推測されるが、他方、継続検査台数は前年並みを維持しており、買い控え等の影響もあり、今後の動向が気になる場所である。トランプ関税は一応の決着を見たものの、全く予断を許さない状況にあることから今後の動向を注視したい。
	スポーツ・健康教授業	岩国・柳井	8月に行ったキャンペーンの入会は目標数まで若干達さず、より内容の改善が必要となった。10月に予定の会費変更の影響（退会数）が7月より若干増加。9月はバッチテストが行われ一区切りとなりやすいので、9月末の退会が影響のピークと予想している。
	普通洗濯業	県内全域	8月はもともと売り上げが少ない月だが、家庭で洗える衣類の増加やビジネスウェアのカジュアル化の影響で、近年はさらに売り上げが伸び悩んでいる。さらに物価高や人件費高によって利益もかなり削られており、経営が厳しいといった声も聞こえる。
	飲食業	防府・山口	コロナが流行っていると聞かすが、全く問題はない。大学4年生の学生アルバイトが増えており、有り難いことである。
	旅館業	防府・山口	売上・宿泊人数ともに前年同月を上回った。インバウンドについても、前年同月比11.1%と好調に推移している。
		萩・長門	猛暑や集中豪雨等天候の影響により、客足は停滞している。売上高は前年同等となったが、原油高により加熱費が30%増加するなど、物価高の影響で管理費が増加傾向にある。
		下関	本格的に夏休みに入り、水族館がリニューアルオープンしたこともあり、家族連れの宿泊者数が増加した。またインターハイが開催され、学生の団体客も増加した。
建設業	電気工事業	防府・山口	中電への工事申請95件（当支部72件）、前年同月66件（同51件）。太陽光発電への申請25件（前年13件）、オール電化申請45件（前年32件）。LED街路灯への切り替え・新設申請7件（前年1件）であった。
	左官工事業	岩国・柳井	左官業界はやや工事量不足の状態が続いている。2～3年前より受注工事単価が上昇しているので採算はまずまずと予想される。
	管工事業	周南	仕事量は安定傾向にある。人手不足に関しては、依然として改善の兆しが見えない。
	屋根工事業	岩国・柳井	連日の猛暑の影響で現場での作業効率が極端に悪化している。建築資材等の高騰のためか新築着工件数が減少している。
	鉄骨・鉄筋工事業	県内全域	「現場物件や小さい物件が重なり忙しい」、「今は他社応援をしているが9月中旬頃から年末にかけて仕事を確保している」との声があり、現状は組合員の仕事量に差が生じているものの、同業他社で協力して仕事をこなしている状況。物件によってはなかなか図面が決まらず、前に進めない状態で苦労している。来年の見積が少なく先行き不安の声が多い。
	一般土木工事業	岩国・柳井	猛暑が続き、土木建築の現場では、熱中症対策により休憩時間を適宜適切に確保しつつ、進行管理に努めている。柳井土木管内では、夏季の入札を意識的に減少させているのか、発注件数が例年よりも減少している。予算的には、昨年度とほぼ同額の予算と聞いている。当組合では、熱中症対策により、例年の環境美化活動を9月30日に、また、技術研修会は10月14日に実施予定である。組合事務所が国道に面していることから、周囲の花壇の管理に努めているが、猛暑の影響で水遣りに苦労している。
		萩・長門	8月の受注高は対前年同月15.1%、今年度の累計は対前年比92.0%
		萩・長門	8月末までの長門地区の公共事業発注高は、例年通りの発注高となった。

月次景況調査結果特記事項【令和7年8月期】
山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
運輸業	一般貨物自動車運送業	周南	なかなか状況が好転せず、燃料も若干の値上がりがあった。業界の中では、仕事量に偏りがある模様。物流業界が盛り上がるような、明るい兆しに期待する。
		宇部・山陽小野田	倉庫保管案件は増加傾向だが、反面、荷物輸送量が減少している。止まらない物価高の影響もあり、値上げ交渉が認められにくくなる傾向にある。人員不足のため、業務が特定の従業員に集中しており、採用と属人化の解消が課題である。
	一般乗用旅客自動車運送業	周南	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲4.1%（令和7年7月1日～令和7年8月20日分 今期25,683千円 前期26,771千円）だった。7月1日～7月31日分は、▲4.1%（今期 17,371千円 前期 18,122千円）。8月1日～8月20日分は、▲3.9%（今期 8,312千円 前期 8,650千円）。5月分はプラスだったが、6月、7月、8月と前年割れの減少傾向。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。7月分については、周南▲2.7%、下松＋4.6%、光▲4.9%、防府市地区が▲1.1%で、組合員の全域では▲2.6%、地区外（員外）▲16.6%、合計▲4.1%（▲751千円）だった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もある、慢性的に不足している。乗務員の人件費が歩合給であって、勤務する乗務員個人の収入は悪くないのだが、総額収入金額が増加しないのに、会社の運営経費は増加し続けているため、タクシー事業者の多くが赤字経営となっているようで、過去に積み上げた資産を取り崩しながらようやく運営しているといった状況。乗務員、後継者がいない事や、今後回復の見込みが立たない事から、老舗のタクシー事業者が廃業を決定している。以前は営業権が高額で譲渡されていたのだが、今は無料でも引き受ける所がない。既にタクシー事業所が無い地域や夜間はタクシーを配車できない地域もあり、過疎化や地域景況の衰退を加速させる事になっていると思われる。
	港湾運送業	宇部・山陽小野田	8月の取扱高は、対前年比でほぼ同程度であった。
その他	介護事業	防府・山口	価格転嫁できない介護業界では、深刻な人手不足や、物価上昇による原材料費・エネルギー価格の高騰により収益は悪化している事業所が多い。また、異例の猛暑の影響により高齢者には厳しい環境となっている。また、自動車や鉄構関係業種のみならず、医療の分野においても今後医薬品に対して米国関税の影響が出るであろうと予測されており、先行きを不安視する報告が寄せられている。